

# 2021 年度 ミズノ杯・大阪広域生コン杯 第 50 回記念日本リトルシニア日本選手権関西連盟中国大会

## 大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハークスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗） サントリーフーズ株式会社
後 援	公益財団法人日本野球連盟中国地区連盟（JABA 広島県野球連盟）
期 日	令和 3 年 5 月 1 5 日（土）～6 月 1 2 日（土）
予 備 日	7 月 1 2 日（日）、7 月 1 9 日（日）、7 月 2 4 日（金祝）、7 月 2 6 日（日）
場 所	マツダ ZoomZoom スタジアム、やまみ三原市民球場、岩国きずなスタジアム、津田恒実メモリアルスタジアム、エブリィ福山市民球場、カーター記念球場、庄原さくら球場、ほか各チーム専用球場
競 技 方 法	代表決定トーナメント戦（三位決定戦を行う） 関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用）
大 会 副 賞	【大会出場権】優勝チーム：日本選手権大会（東北）：1 チーム ※8 月初旬開催予定 【敗者復活戦】この大会の敗者は西日本選手権代表権をかけて敗者復活戦に出場できる。
開 会 式	実施せず
監督審判会議	実施せず
閉 会 式	期：令和 2 年 6 月 1 2 日（土）：決勝戦終了後（1 4：0 0 予定） 於：マツダ ZoomZoom スタジアム
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：1 8 チーム

抽 選 会	とき：令和 3 年 4 月 1 8 日（日） 於：呉昭和シニア専用グラウンド
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
試 合 球	ミズノ（シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球 ※最初の一箱のみ一括購入
審 判 員	<ul style="list-style-type: none"><li>● 一回戦～準々決勝：本部審判員 2 名、父兄審判員 2 名（各チームから 1 名派遣） ※父兄審判員については、中国支部が発行する審判カード所持者に限る。</li><li>● 準決勝～：本部審判員 4 名（各チームからの派遣なし）</li></ul>
参 加 要 件	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 本大会に出場できる選手は、日本リトルシニア中学硬式野球協会が発行する選手登録証所持者（コピー不可）且つ、大会登録書（要：審査印）に記載された選手のみ、ベンチ入りを許可する。</li><li>2. 1 チームの最低人数は 9 名以上 2 5 名未満で編成するものとし、背番号は 1 ～2 5 番までとする。なお、大会中の選手の入替えや背番号変更は一切認めない。</li><li>3. 最低人数に満たないチームは応援または合同チームでの参加を認める。（合同等チームの場合、各チームのユニフォーム着用は認めるが、背番号は重複しないこと）</li><li>4. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。</li><li>5. 本大会に参加するチームは、協賛弁当（@6 0 0 円）の注文に協力すること。</li></ol>

---

## 競技要項（大会特別規定）

---

- 第1項 ベンチは若番が一塁側、ロージンは両チームが用意（感染防止対策）し、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする）
- 第2項 初級・中級審判員は、別紙対戦表に明記された審判を原則とし、各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の本部審判員により説明を行う。
- 第3項 本大会は代表決定トーナメント戦を採用し、三位決定戦も行う。（代表決定トーナメント戦の競技詳細については別添参照）
- 第4項 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレーク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。（但し決勝戦は除く）
- 第5項 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（但し決勝戦は除く）
- 第6項 メンバー交換は前試合4回終了後、大会本部が指定する場所にて、監督・代表選手1名が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。
- 第7項 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 第8項 試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関し、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 第9項 次試合チームの先発バッテリー1組に関し、メンバー表交換後、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 第10項 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）
- 第11項 監督指示により捕手がタイムを取る行為はタイムカウントとして数えないが、遅延行為など試合進行に支障があると判断した場合は、1回のみ警告を行い、2回目からはタイムとしてカウントする。

---

## その他の注意事項

---

- 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。（4回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）
- 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。
- 本大会は関西連盟が指定するソーシャルディスタンスに定められた規程を遵守すること。